

2 学期の反省

1 基礎学力の向上

(1) 基礎学力の基礎づくり

気づき・考え・行動し・生かす習慣化に取り組んだか。
「三点固定運動」の定着は図れたか。
チャイムによる開始・終了する授業を実践したか。

- ・ 自分の学習や仕事が終わった後、もっとできることはないか考えさせるようにした。
- ・ 最善策を知っていても、児童から尋ねられたことに対して、あえてはっきりとした回答をせず、考えさせている。
- ・ 朝の会等で三点固定の大切さを機会あるごとに話し、定着を図った。
- ・ 毎日、三点固定運動について確認し定着を図った。
- ・ 授業終了時刻までに2学年ともまとめができるよう意識して取り組んだ。
- ・ 児童もチャイム前の着席が習慣づいてきている。
- ・ チャイムを意識して授業を行った。

(2) 基礎基本の定着と活用能力の育成

少人数複式授業の効果的な授業のあり方を追及したか。
めりはりのある熊本型授業の展開に努めたか。
全国学力テスト・ゆうチャレンジ問題の意図・結果を授業に生かしたか。

- ・ 「しか刺し」「しし鍋」学習を進め、児童が自主的に学習を進められるよう取り組んだ。
- ・ 研究授業をきっかけに視聴覚機器の工夫を日々重ねてきた。
- ・ 能動の時間を十分確保できるようにした。
- ・ 間接指導時に自分たちでできるように事前の指示などを工夫した。
- ・ 「徹底指導」で基礎基本の定着、「能動型学習」で発展的な問題への取組を進めた。
- ・ 自分の考えを自分なりの言葉でまとめる場を多く設定した。
- ・ 計画的に時間をとり、前年度までの学習内容から徹底反復する必要性を感じ、すぐに復習に取りかかり始めた。
- ・ 県学力調査に向けて、過去問題をさせたり、授業に取り入れたりした。

(3) 個に応じた教育活動の充実

児童の理解度に応じたステップ学習に取り組んだか。
補充個人指導(トライタイム)の工夫充実に努めたか。
公開に耐えられる適切な評価補助簿の記帳に努めたか。

- ・ 一人一人の理解の状況を把握し、それぞれの子どもに合った学習を進めた。
- ・ 理解度に応じてプリントや発展問題などを工夫した。
- ・ トライタイムだけではなく、休み時間等も活用し、補充指導に努めた。
- ・ 随時、教科書にない基礎問題を最初の徹底の時間に取り入れ、児童の理解の定着を図った。
- ・ トライタイム以外に放課後や余裕の時間を使って、補充指導を行った。
- ・ 各単元ごとに評価を行った。

2 豊かな心の育成

(1) 人権教育の充実

本校の人権課題の把握に努め、共有化を図ったか。
自他ともに大切な存在を認める取組ができたか。
差別意識の解消に向けた取組を進めたか。

- ・ 校内での児童の様子をよく見て、ちょっとした変化も伝え合った。
- ・ 「あったかハートの木」の呼びかけをした。
- ・ 特に人権月間で人権について考えさせた。
- ・ 「みつめる」の文集を作成させるにあたって、しっかり考えさせた。
- ・ 周りの人を大切にすることに重点を置き、人権学習に取り組んだ。
- ・ 早退や欠席の児童が出た場合、その児童がいない時に感じる存在感を話し合い、次の登校時に伝えた。
- ・ 相手を大切にしていない言動が見られた時には、その場ですぐに指導した。
- ・ 部落差別の歴史を社会科の学習と関連させながら学ぶことで、その不合理性を明確にした。

(2) 道徳の時間の充実

「展開の概要」を活用した授業を展開したか。
実態把握に努め、適切な教材で心に響く展開ができたか。
他領域と連携した体験的な道徳教育を推進したか。

- ・ 「展開の概要」をもとに毎時間取り組んだ。
- ・ 教材のねらい、主価値をしっかり意識して指導した。
- ・ 年間計画と学級の実態を照らし合わせながら教材を活用した。
- ・ 全学年、授業参観で道徳の授業を行った。
- ・ 「心のノート」に今の自分の姿を素直に書かせることで、じっくり自分と向き合わせることができた。
- ・ 必要に応じて写真も提示しながら、体験した時の感情を喚起させた。
- ・ 「自然愛護」の価値の学習のあと、すぐ体験活動を取り入れるなど、自分の身の回りのことにつながるよう努めた。
- ・ 体験的な活動と道徳教育とを結びつけた授業に心がけた。

(3) 読書活動の推進

目標冊数や毎日読書に取り組ませたか。
学校図書館を活用した学習活動を推進したか。
読書の重要性を伝え、家庭での読書を推進できたか。

- ・ それぞれの読書力合った本を紹介し、読書に取り組ませた。
- ・ 国語や生活、図工などで図書館を活用した。
- ・ 教科書の題材の作者が書いた他の作品も読ませ、学習の深化を図った。
- ・ 「読書の達人」の取組を進めた。
- ・ 想像を膨らませながら読むことが、日常生活で人の気持ちを考える心が豊かになることを、体験を交えながら幾度も語りかけた。
- ・ 家庭読書を推進するために、毎日のチェック表を使用し確認をした。

(4) ふるさと教育の充実

地域の人材・自然・文化にかかわる取組ができたか。
児童による「花一杯プランター100」は推進できたか。
学校版環境ISOの積極的な取組ができたか。

- ・ お祭りに向けて、しっかりと神楽に取り組んだ。
- ・ 神楽は保存会の方々の熱のこもった指導に、子どもたちも一生懸命に応えていた。祭り当日の舞には感動を覚えた。
- ・ ふるさとの良さを伝えるための「いきいき体験教室」を行った。
- ・ 生活の時間を活用しながら、花一杯の学校に取り組んだ。
- ・ 更紙の活用、電気・暖房器具のこまめな消灯に努めた。
- ・ 教室以外の特別教室でも暖房をこまめに消す習慣が身についた。
- ・ 裏紙を積極的に使用したり、電気やヒーターをこまめに消すように言葉かけを行った。

3 健やかな心身の育成

(1) 学校保健体育の充実

新体力テスト結果を基にした体力強化策に取り組んだか。
汗をかく運動量を確保した体育の授業に取り組んだか。
自ら運動に親しむ業間体育・部活動を推進したか。

- ・ 児童の弱点を把握し、全学年で個々に応じた体力の強化に努めた。
- ・ 学年に応じた運動量の確保に努めた。
- ・ 個人カードの工夫などで、持久力に伸びが見られた。
- ・ 九州一周や計画的な持久走の練習をもとに体力強化に取り組んだ。
- ・ 持久走の前後でシャトルランをするなど。個人の伸びがわかるような工夫をした。
- ・ 鉄棒運動では、運動の特性に十分ふれさせることができ、学習終了後も鉄棒に取り組む姿がよく見られた。
- ・ 体を動かすことの楽しさを伝えられるように励ましてきた。

(2) 学校安全・食育の充実

危険を予知し、回避する態度と実践力を育てたか。
「いかのおすし」を理解させ、不審者対策を講じたか。
整理整頓に心がけ、整然とした環境作りに心がけたか。
安全点検の確実な実施と改善に取り組んだか。
一人一場の無言清掃を通して、働く大切さを学ばせたか。
保護者への食育の重要性を理解させ、実践を図ったか。
楽しい給食に心がけ、偏食指導に取り組んだか。

- ・ 紅葉シーズンの休日前は、帰りの会などの短い時間での危険予測訓練を行った。
- ・ 保健の学習と関連づけて、身の回りの危険について考えさせた。
- ・ 常に危険を予知できるよう、その時その時に考えさせた。
- ・ 校内での危険予知に関する内容を月の重点目標に掲げ、階段や廊下での危険について話し合った。
- ・ 休日前に「いかのおすし」を確認するようしてきた。
- ・ 学習内容、作品等の掲示を含め、整理整頓に努めた。

- ・ 担任が毎月場所を交代して安全点検を行った。
- ・ 一人ずつ分担を決め、最後まできれいに掃除をするようにさせた。
- ・ 年間を通して、掃除場所を細かく決めて実践させた。
- ・ それぞれの食物のもつ良さや他の物と合わせて食べることなど苦手な食べ物をなくす指導を行った。
- ・ 松本先生をお招きしての学習は子どもたちにとっても好評で、家庭科の学習の充実が図れたことを学級通信を通じて保護者にも知らせた。
- ・ 偏食やマナーなど、その場に応じて指導した。

(3) 心の健康の推進

立ち止まって気持ちのよい挨拶ができる児童を育てたか。
授業以外で、毎日クラスの児童一人一人に語りかけたか。
目配り・気配り・心配りを意識して実践させたか。
ソーシャルスキル学習を積極的に取り入れたか。

- ・ 挨拶をすることの良さを伝え、気持ちの良い挨拶ができるよう指導してきた。
- ・ 児童の挨拶に必ず笑顔を返すことで挨拶の気持ち良さを感じられるように心がけた。
- ・ 笑顔で挨拶ができるようにするために、できていない時はやり直しをさせた。
- ・ 毎朝、必ず子どもと話しをする時間を確保した。
- ・ 周りの人へ思いやりをもってできた行動をその場でほめ、次への動機づけを行った。
- ・ 「目気心ウィーク」以外でも帰りの会で目気心のことを、毎日振り返り始めた。
- ・ 常に目気心を心がけるような言葉かけをした。

4 信頼される学校づくり

(1) くまもとの教職員像の追及

児童一人一人に愛情を持って教育活動に取り組んだか。
組織の一員を自覚して課題解決に取り組んだか。
保護者や地域を意識して、積極的に関わったか。
法令等に抵触しないような言動に心がけたか。

- ・ すべての子どもたちが健やかに育つよう教育活動に取り組んだ。
- ・ 児童をきつく叱る時も、同時にその児童の良さを認めながら叱るように心がけた。
- ・ 本校の子どもたちの良さを発揮できるよう組織の一員として指導にあたった。
- ・ 運動会、PTA行事、お祭り等、積極的に関わった。
- ・ 行事等で保護者や地域の方々と様々に関わることを心がけた。
- ・ 神楽、運動会など、地域の一員として積極的に関わるよう努力した。
- ・ 全体の奉仕者である公務員として職務にあたった。